

●国語科

「わたしたちの町の行事をしょうかいしよう」

●社会科

「わたしたちの町につたわるまつり」

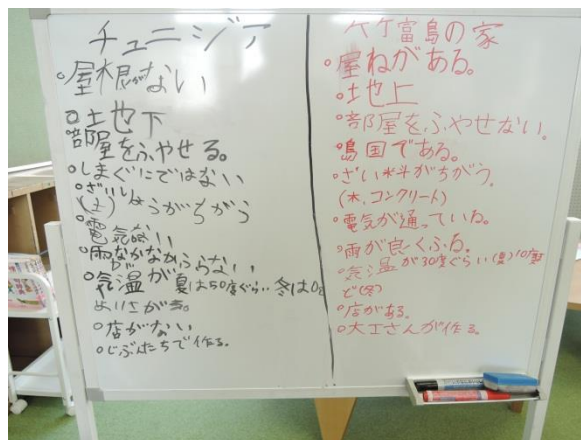
地域の色々なお祭りについてグループごとにまとめたものを、みんなの前で発表することになった。その練習の様子を「ぼうけんくん」を使って録画し、それを大きなテレビに再生して、どのようにしたらより良くなるか、どこが良かったかについて皆で意見交換した。普通では絶対に見ることができない自分が発表している姿を観ることは、自分ではできているつもりでも実はできていなかったというように、自分の課題や上手くできている部分について客観的に観ることができ、発表の上達につながったと思う。



●国語科

「くらべてわかったことを書こう」

【りんごとみかん】や【救急車と消防車】などの二つのものの違いや同じ点を各班に分かれて調べ、ホワイトボードに書き、発表を行った。今回は、国語の教科書の单元にもある「人をつつむ形—世界の家めぐり—」の世界または日本の地域の家の、家の材料、気候、人々の暮らしについて比較し、その相違点を書き出し、発表した。

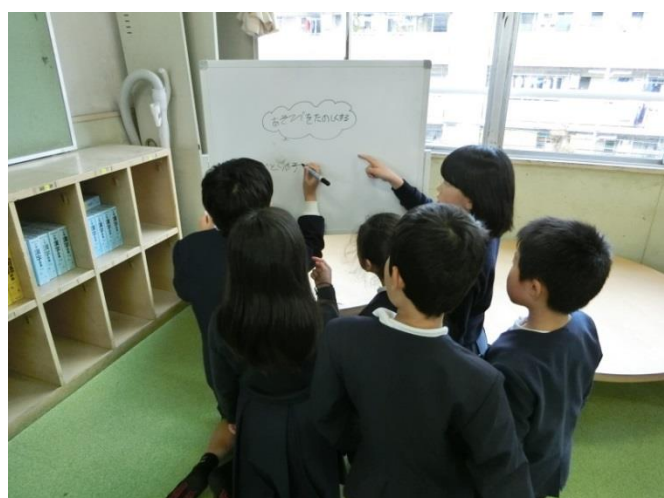
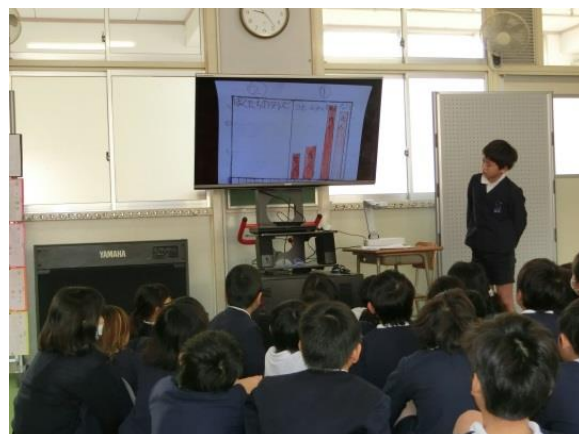


## 4年 ワークルーム活用報告

### ①国語「目的に合わせて書こう」

テレビにOHCを使って児童が書いたポスターを映し出し発表する。みんなの前で調べたことを発表し、その場で質問を受け付け答える。その内容についての質問もあれば、グラフのかき方などに対する感想なども出ていた。

良さ…発表者が近く聞く人も集まって聞き合えるので、より意欲的に友達の発表に耳を傾け考えられた。



### ②道徳「群れと集団」

ホワイトボードで話し合う。発言したことを全て書いていき、線でつなげていく。

良さ…みんなの思考が連動していく。話し合いが可視化され論点がずれても戻ってこられていた。班で話し合いの報告をみんなにする時も、ホワイトボードを見せながらするので、話し合いの経過も見えやすかった。

### ③社会「大和川のつけかえ」

昔の大和川を写真や地図をいつでも見られるようにしておく。つけかえ工事に解説が載っているホームページをお気に入りに入れておく。

良さ…いつでも調べられる環境が良い。昔の大和川の地図を見て、疑問に思ったことなどをすぐその場で調べている児童もいた。また、テレビの画面にも映せるので、みんなで考えている時もあった。

# 5年ワークルーム実践報告書

## 国語科「委員会紹介をしよう」

国語科の学習で委員会紹介のリーフレット作りをしました。

来年度4年生が委員会を選択する時の参考になる様にリーフレット作りをしました。各委員会に分かれ、4年生が読むときにわかりやすいリーフレットにするにはどうすればいいか話し合いながら、A4の用紙に必要な情報だけを選別しながらまとめました。また委員会活動をしている写真を撮って載せるなど視覚的にもわかりやすように作ることができました。ワークルームの丸机は話し合いがしやすくみんなの意見が出しあいやすかったという感想が出ました。

## 外国語「ゴディロックスと3匹のくま」

各班に分かれ、3月に発表する外国語劇の練習を取り組みました。教室では人数が多いため動いたりするワーク活動がしづらく、例年では多目的室に移動するなど不便であったが、ワークルームができたことでグループ活動の幅が広がっています。また休み時間の時にワークルームに行って劇の練習を積極的に取り組むなど、自主性が増してきています。

今5年生は子ども達も楽しそうに演劇の練習に取り組み、発表会に向けて頑張っています。

# 6年 ワークルーム 実践報告

## ○実践1 国語 ふるさとの良さをしょうかいしよう

1. 図書室やパソコン室で、しょうかいしたいふるさとの良さを調べる。
2. 調べて分かったことを、パワーポイント（写真）を使って発表する。
3. 発表した内容について話し合い感想を伝える。

ワークルームの大型テレビとパワーポイントを使って発表させることで、発表の意欲や他の班の発表に興味や関心を持って聞くことができていた。資料（写真）集めや調べ学習など、自分たちで時間を見つけてワークルームを利用していた。丸テーブルは話し合う活動において子どもたちからとても好評だった。ホワイトボードも活用して、より活発な意見交流の場を作ればよかった。パソコン等の操作に苦戦しながらも、楽しそうに取り組んでいた。

## ○実践2 体育 跳び箱（台上前転）

1. 授業風景をビデオで撮って、ワークルームで見る。
2. 良かった動きや課題点を話し合い、次時にいかせるようにする。

普段、自分では見るできない自分の技を見ることで、どこができていて、どこができていないか確認することができた。何回も繰り返し見たり、友達の技と比べたりすることで、色々な観点から自分の技を分析することができた。観点に関しては副読本を用いることで、自分たちで考えて話し合いを進めていた。ホワイトボードを工夫して使い、自分たちの意見を共有し、話し合ったことをまとめ、図や絵を使って発表することができた。

